

ひとことアピール

ミンダナオでは一番暑くて雨もないこの4、5月が子どもたちの夏休みです。6月の新学期に学校に行けるか進学できるか、小さな胸を痛めている時期でもありません。少しでも多くの子供たちが学べるように、月額500円からの教育支援活動へのご参加お待ちしております。



2010年4月30日発行

NPO法人ビラーンの医療と自立を支える会

(英文名略称・HANDS)

本部：〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町516-11

TEL:045-962-0824 FAX:045-962-1933

E-mail: hands-ty@r07.itscom.net

http://homepage3.nifty.com/hands/

郵便振替口座 00210-5-72693

(加入者名) ビラーンの医療と自立を支える会

私たちの大切なパートナー4団体 CMIP・COWHED・PFP・PIHS

- CMIP : Catholic Mission to the Indigenous People
- COWHED : Cooperative of Women in Health & Development
- PFP : Partner for First Peoples Foundation
- PIHS : Pasasambao Integrated Health Service

「私たち会員の500円を有効に活用しているという話、本当ですね」この3月、エドウィン神父の案内でCMIP事業地域を訪問中のボランティア・鈴木さんからメールが届きました。山越え谷越え、ビラーンやティボリの村を案内する、労をいとわぬ姿が印象的だったそうです。



1996年のHANDS発足時からのパートナーであるCMIPを通じて支援している村は、例外なく山深い辺境にあります。巡回診療、分校での教育、水道建設のため現場に赴く神父やスタッフの苦労は並大抵のものではありません。しかも、スタッフ手当は最低賃金に届かない金額です。

この人件費はCMIPの母体である修道会が負担しています。私たちの500円、1000円は、ほぼそのまま医薬品となり、給食となり、授業料となって、最も必要とされる患者や子どもたちに届けられます。

今年度は約80名の奨学生支援、6校の給食事業、数百名の患者支援、1件の水道建設事業等を実施します。

* * * *

「ILOフィンランド助成のマイクロファイナンス事業は順調で、10月からはその収益でジェマさん他スタッフ給与を賄う予定です」出張中の九島さんからのメールは、COWHEDのあるレイクセブからでした。

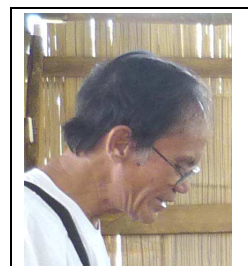
COWHEDの運営支援を始めて10年、今年度の支援はハンディクラフト販売促進に限定します。計14回の国内イベントに出展し、ティナラク織りと刺繍の手工芸品を販売します。

* * * *

PFP事務局長ロニーさんからメールが入りました。「クハン村は入植者とのトラブルが未解決で危険です」

2002年にパートナー団体になったPFPとは、継続事業としてブラクール小学校・高校支援を行っています。また、昨年度はクハン村のアグロフォレストリー事業を含む3件の助成金事業を実施しました。

スタッフ4名のうちロニーさんを含む3名は農業の専門家です。傾斜地農法によるアグロフォレストリーの実績が豊富なPFPは、先住民族支援に持続可能な森林農業が最善と考える私たちにとって頼りになるパートナーです。クハン村のような治安悪化のケースでも、住民との信頼関係は継続しており、苗木の成長を見守り続けています。



今年度はアグロフォレストリー事業2件を実施します。

* * * *



住民のニーズに応じて母子検診、患者支援とモロの村々を飛び回るダイナミックなPIHS。ただし、ガソリン代と医療スタッフ手当が必要です。代表のナプサさんと耕運機購入など自主財源事業の打ち合わせをしました。やはり

自前の財源がないPIHSにとって、人件費の確保が今後の課題です。

* * * *

パートナーとの協働が大きな実りとなるためにも、HANDSは駅前事務所の持続可能な運営を目指します。